

やりがいのある仕事です!

大分市女性消防士ことはじめ

釘宮

山口 あの阪神淡路大震災の時、私は小学生でした。当時、大阪市内に住んでいましたので、救助活動をしている人たちを見て、自分も何かできないかなと思いました。中学校の時に救命講習を受けたんです。女性でも救命救急の仕事ができることを知ったんです。人を守る仕事に就きたかったんです。就職活動をする中で、大分市が女性の消防員を探

プロフィール

釘宮 里佳 大分中央消防署予防係
(平成16年4月採用)

森 まどか 大分中央消防署予防係
(平成17年4月採用)

山口 裕子 大分南消防署救助係
(平成17年4月採用)



山口 裕子さん



森 まどかさん



釘宮 里佳さん

釘宮

森

■消防士の仕事

釘宮 以前は救急隊にいたのですが、現在は予防係にいます。広報活動や建物の立ち入り検査、設備の維持管理調査などの仕事をしています。

森 私は「災害時に役立つ戦力、社会貢献ができる救急救命士」と書かれたパンフレットに惹かれて救急隊になる為の学校に行きました。卒業時に大分の消防士の採用が丁度あつたので、試験を受けました。

森

森

釘宮

■トイレ・更衣室・仮眠室

山口 ま寝せるのはかわいそうやーって。先輩方も初めての女性消防士を迎えるに当たって、気を遣われたようで、感謝しています。

森 入ってすぐの時は、新しい布団を買って頂いたり、至れり尽くせりに対応して頂きました。男の人が寝ちよつた布団にそのまま寝るのはかわいそうやーって。先輩方も初めての女性消防士を迎えるに当たって、気を遣われたようで、感謝しています。

News
7月20日に開催された九州地区消防技術指導会の演習競技大会で森まどかさんが男性消防士とペアで出場し、みごと入賞し、全国大会に出場しました。

のですが、私も就職してはじめて予防係という仕事があることを知りました。消防の仕事は基本的に感謝されることが多い仕事ですが、予防係の仕事はどちらかというと苦情処理が多いですね。救急の現場とは又違った難しさを感じます。

女性消防士の認知度
私の場合は、名前を強引に男の名前（サトヨシ）として読まれて電話がかかってきたことがあります。消防署には男性しかいませんという固定観念を持たれていたことがあります。

森 電話で対応している時、「女じやなくて上司に代わる」と言われたことがあります。

かけるのは悪いかなあと思つてぐつこらえる時もあります。

■男の職場

山口 私が入った年は女性が一人だけでした。体力の差があつて、消防学校の授業についていけないこともありました。その時はきつかったです。授業の内容は、

大分市の女性消防士として、新しい歴史を刻み始めた若い三人。先駆者として、様々な場面で風穴を開けていく立場ながら、気負い無く自然体で職務を全うされています。とはい、「後輩より先輩が欲しいです」と素直に、『後輩より先輩が欲しいです』と素直に答える姿に、その苦勞の一端を感じました。

人助けをしたい何か役に立ちたいという気持ちを持って社会人になった仲間同士、その絆の強さは特別なものに感じられました。